



アートを通じて、子ども自ら考える力を育む

見つける

ミツケルアート®キッズ版

✿ ミツケルスキルアップ ✿

ベーシックコース

① テキスト

✿ お問い合わせ先 ✿

TEL 053-474-5717 (9時~19時)
shop@sprayart-xin.com (24時間受付)

はじめに

こんにちは！ミッケルアート開発者、株式会社スプレーアートイグジンの橋口です。このたびは、「ミッケルスキルアップ・ベーシックコース」のご受講ありがとうございます。

弊社では「アートの図書館」と称して、様々なアートを用意しております。季節の行事・食べ物・遊び・生き物・生活習慣など・・・貴園に合わせたアートをお選びいただけます。

ミッケルアートキッズ版は、子ども自ら考える力を育むことを目指します。

- ・子どもたちの言いたい事や想像力をもっと上手く引き出したい
- ・子どもたちに何かを伝えたい時、どのように伝えれば届くのか

このような声を頂き「ミッケルアートキッズ版」を制作しておりますが、「ミッケルスキルアップ・ベーシックコース」をご受講頂くことで、「ミッケルアートキッズ版」をより有効に活用することが出来ます。

**「ミッケルスキルアップ・ベーシックコース」は、
子どもの考えを最大限に引き出せるように考えて作成しました。**

「ミッケルスキルアップ・ベーシックコース」には正解・不正解がありません。アートを見て、子どもたちの言動を想像したり、それに対する保育者の声かけを考えたりします。様々な視点から考え、深掘りすることで、もっともっと自身の想像力をアップしていきましょう。

そうすることで、子どもの言いたいことや想像力を最大限に引き出し、日々の保育にも活かすことができます。

「ミッケルスキルアップ・ベーシックコース」が少しでも皆様のお役に立てる事を心より祈っています。



橋口 諭

はしぐちりん

研修内容

🌸 ミッケルスキルアップ・ベーシックコースとは

修了まで2～3時間の通信教育制です。様々なアートを見ながら、保育の中でどのようにミッケルアートを活用するのかを考える問題です。

テキスト
を読む

問題集を
解く

提出

修了



資格取得までの流れ

① テキストを読む

問題集の解答を、パソコンでエクセルに入力してください。

② 問題集を解く

問題集を解く時間は2時間～3時間です。

提出

メール添付で送信してください。 shop@sprayart-xin.com (24時間受付)

修了

弊社にて合否判定の上、合格者には修了証を送付致します。



※お仕事の都合に合わせて受講可能です。

※弊社から受講開始日を指定することはありません。受講者のご都合に合わせて受講開始してください。

※3年ごとに更新研修が必要です。更新研修は1名10,000円(税別)です。

合否の基準

問いに対し自身の考えを的確に書いてあることを合格の前提条件とする。
適当に答えている記述や空欄がある場合、不合格とする。

はじまりニャン♪



🍀 研修について

研修を始める前に以下の内容をご確認ください。

🌸 研修データ・個人情報

- ・株式会社スプレーアートイグジンが、個人情報保護法に基づき管理します。
- ・研修データは、個人情報を除き、HP・学会等に発表する場合があります。
- ・研修データは、受講者自ら学会発表等に使用することができます。

🌷 ミッケルスキルアップで使うもの

データで支給します



テキスト



問題集



エクセル

チェックして
ニャン♪



個人情報の取り扱いについて

1. 個人情報保護に関する法令、国が定める指針、その他の規範を遵守します。
2. 個人情報の利用目的を明示し、適切に個人情報の取得、利用および提供を行います。取得した個人情報は、法令で定める場合を除き、明示した利用目的の範囲内でのみ利用します。
3. 取得した個人情報は、法令で定める場合を除き、本人の同意なしに第三者への提供は行いません。
4. 個人情報保護に関して、組織的、物理的、人的、技術的に適切な対策を実施し、安全管理措置を行います。
5. 個人情報保護に関するルールを策定、周知し、個人情報を適切に取り扱うよう教育、啓発を行います。
6. 個人情報の取り扱い、管理体制および取り組みに関する点検を実施し、継続的に改善・見直しを行います。
7. 外部委託を行う際には、適格性を十分に審査し、情報管理を徹底するよう指導、監督します。
8. 本人の求めによる個人情報の開示、訂正、追加、削除、もしくは利用目的の通知を法令に従い行うとともに、ご意見、ご相談に関して適切に対応します。

静岡大学発ベンチャー企業
株式会社スプレーアートイグジン
代表取締役 橋口論
TEL 053-474-5717

ミッケルアートキッズ版は、

「子ども自ら考える力」を育むことを目指したアートです



ミッケルアートキッズ版では、アートを飾ったり、アートを見ながら子どもと保育者みんなで考え、意見を出し合う環境をつくることで、子どもたちが主体的に考えて行動する力を育むことを目的としています。

また、アートを通して、「見る・知る・感じる」ことで、子どもの興味が広がっていき、自ら考え、学ぶ力を育むことが期待されます。

アートの題材は、生き物、食育、ごっこ遊び、伝承遊び、伝統文化、交通安全など、多数揃っています。まさに「アート図書館」です。

ミッケルアート活用事例のご紹介

事例1 玄関に飾る

「玄関にいろんな絵を貼ってみようかな」という意見からやってみました。

・優しい雰囲気のアート・今月の保育のテーマ・保護者に伝えたいこと・気を付けてほしいことのアートなど、毎月いろんな絵に変えると面白い空間になるかもしれません♪



事例2 さりげなく、飾る。そして、こっそり変化する

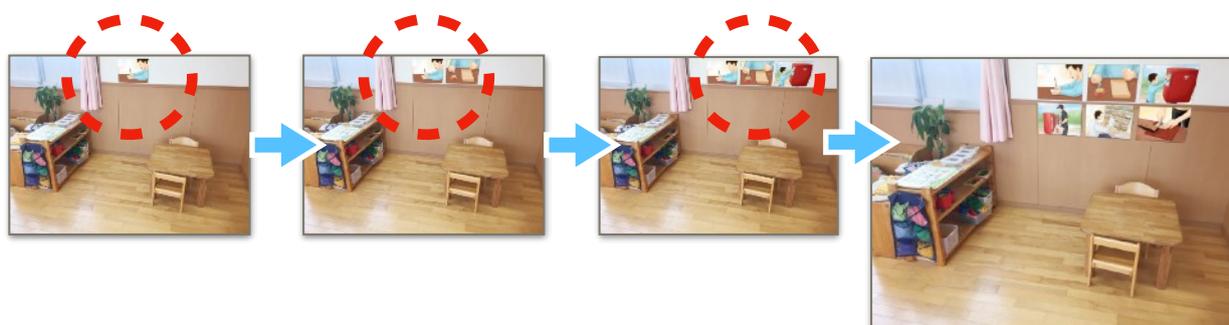
「土の中の世界や、生き物の成長を、じっくり見れるアートがほしい♪体験したことを振り返る機会になるかも」という意見から誕生したアートです。

子どもが興味を持ち、飽きた頃に、こっそり変えることが面白いかも♪



事例3 アートを飾り、ごっこ遊びを深めるきっかけに♪

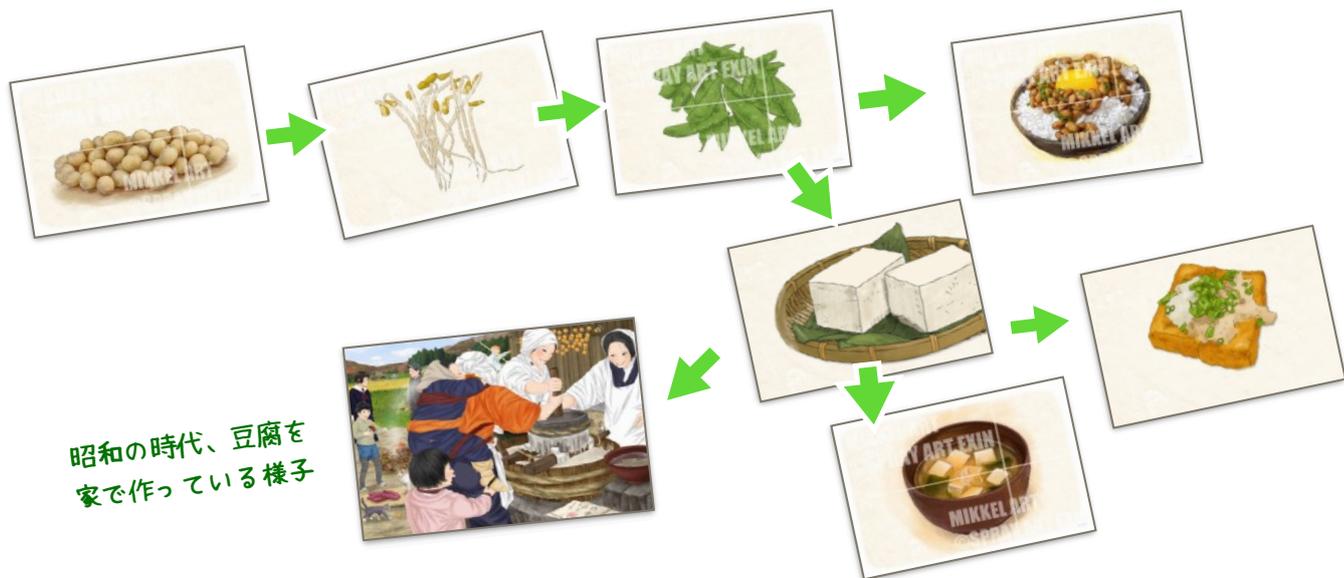
「郵便屋さんごっこを深堀りさせたいので、そのようなイメージができるアートが欲しい」という意見から誕生したアートです。一気にすべて飾らず、じわじわ増やしていく方法もありかも♪



事例4 食育に活用

「土の中の世界や、生き物の成長を、じっくり見れるアートがほしい♪体験したことを振り返る機会になるかも」という意見から誕生したアートです。

子どもが興味を持ち、飽きた頃に、こっそり変えることが面白いかも♪



事例5 伝承遊び・季節の行事などに♪

「お月見は、お団子を食べて終わり。ではなく、季節の行事は、どうしてこの行事があるのか、深めるきっかけにしたい。」という声から生まれたアートです。

お月見



運動会



事例6 授業参観時などの題材として利用

「勤労感謝の日の近くは、職業を保育のテーマにしています。実際の職場を見に行くといっても、受け入れ先を見つけることが難しい場合もあります。いろんな職業のアートを飾ることで、自然と興味を持つきっかけに繋がりたいです。」という声から生まれたアートです。

「ごっこ遊びをしたくなるような仕草」を描きました。

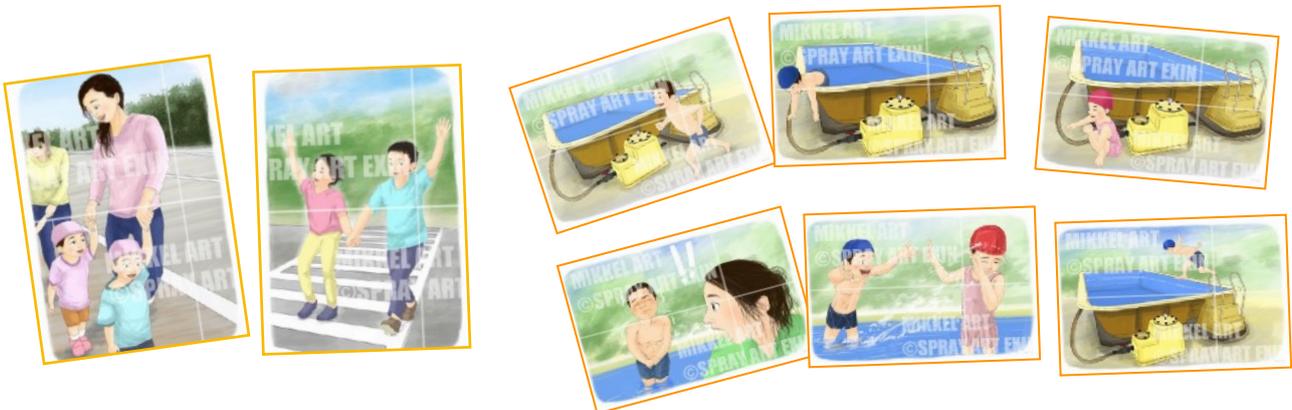
職業



事例7 交通安全や野外活動の危険をみんなで考えよう

「屋外で遊ぶ時には、事前にお約束事をしてから始めたいです。そんな時に見せたいですね」という意見から生まれたアートです。

アートをみて一緒に考えることで、なぜどうして危険なのかを考えるきっかけになるかも。



ミッケルアートキッズ版は、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿**」も意識した上で、子どもたちが楽しく学び成長できる題材が多数揃っています。ご希望のものがあれば、「アートの図書館」からリクエストが可能です。
※貴園のご要望に合わせた題材をお届けいたします。カタログに無いものについても積極的に取り入れています。

事例8 保育士同士でアートを活用



保育者の発想に柔軟性を持たせる方法として、保育者同士のロールプレイングが有効です。まずは保育者同士で、一枚のアートから想像できること、感じたことをどんどん言い合ってみましょう。おそらく自分では考えつかなかった見方がでてくるはずです。

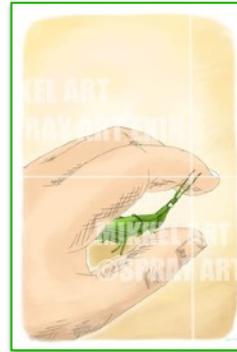
例えば、このアートから、あなたはどんなこと想像しますか？



- おうちでスリッパを履いて
- このあと歩く
- 靴を履き直している
- 間違えて友達の靴を履いている
- 靴のサイズが合っていない
- かかとを怪我している

など、いろいろとできませんか？

写真・イラスト・ミッケルアートの特徴



上の写真とイラストとミッケルアートを見てください。

🍀 設定

先日、あるクラスでは散歩中に子どもたちがバッタを見つけました。子どもたちはバッタを見て手で捕まえようとしたのですが、力加減が難しくバッタをつぶしてしまいそうになりました。保育者はこれを機に「生き物を大切に捕まえよう」ということを教えたくて、インターネットで分かりやすい画像を探すことにしました。

🌸 写真の場合

写真は被写体そのままをカメラで撮影しているので、とてもリアルなものです。事実を確認したい場合に適しています。

🌸 イラストの場合

イラストも被写体を描く事が多いですが、描く人の意志で表現を変えることができます。「葉っぱをなくして、バッタだけを強調したい」「かわいらしさを加えたい」など、被写体の状況より書き手の気持ちが強く表れるのがイラストです。

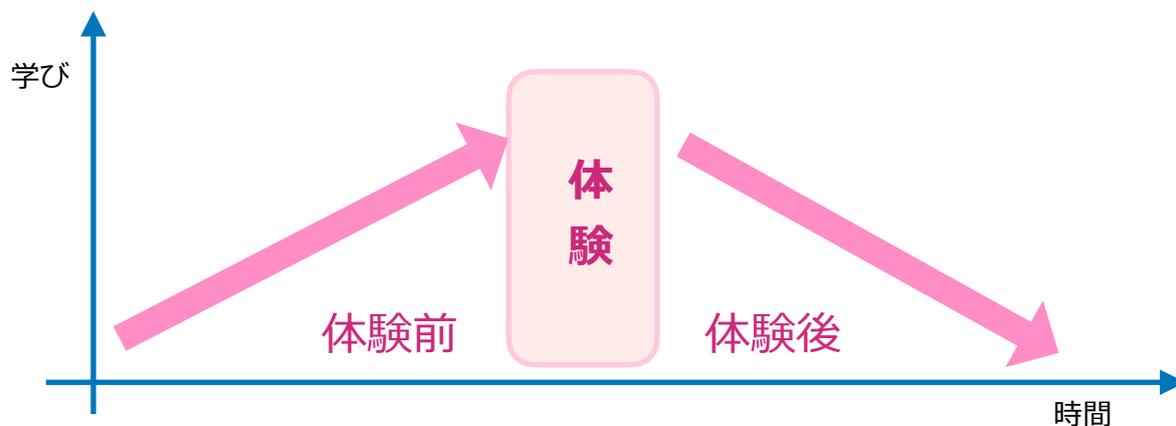
イラストチックな可愛いバッタやリアルなバッタを再現したものはネットで探すことが出来ますが、この保育者が探しているイメージに近いものは、なかなか見つかりませんでした。

🎨 ミッケルアートの場合

そこで、保育者のリクエストから誕生したのが一番右のバッタの絵です。生き物の気持ちを子ども達が考えるアートになりました。

ミッケルアートキッズ版は、アート教材ですが「どのようなアートにしたいか」絵に強く表現されるのは、弊社の想いではなく保育者の皆さんの想いです。**つまり、この教材の作り手は、保育者の皆様なのです。弊社は皆様からの意見を集約して「制作する」ことに専念しています。現場のお声に沿った教材にするために、皆様からのご意見・ご要望・リクエストを大切にしています。**

子どもは体験を通じて、学んでいく。 では何故ミッケルアートはわざわざ絵にしているのか？



上に示したように、子どもに限らず人は、体験を繰り返すことで学んでいきます。また、時間の経過と共に体験したことを忘れてしまうのも人ならではの事です。

下のアートを見てみましょう。これらの絵を子ども達に「体験させたいこと」「体験させたくないこと」に分けてみましょう。※この問題は、合否対象の問題ではないのでエクセル入力する必要はありません。



いかがですか？

上記のアート、①**体験させたいこと** ②**体験させたくないけど考えてもらいたいこと** という2つに分かれますか？

成功体験だけでなく、喧嘩をすること・勝負に負けることなどの体験は人を大きく成長させます。また、人はこうした体験を繰り返すことで学びを得ていきます。

交通ルールや災害についてはどうでしょうか？事故や災害に遭うこと、川遊びの危険性などは、**体験無しに考えていかななくてはならない**ものです。

アートは、こうした繰り返しの意識づけが必要なものや体験無しに考える必要性が高いものに非常に有効なツールなのです。

アートを通じて、体験をする前の意識づけや、体験後改めて考える機会をつくることで、主体的に深く学ぶ機会を増やすことができます。

ミッケルアートの仕組み

貴園の保育計画にそったアートをリクエストできる

保育所保育指針

園の理念

保育計画書

保育



カタログ

貴園は、ミッケルアートキッズ版のカタログから、**ほしいアートをリクエストすることができます。**

アートの題材は、保育所指導指針の内容にそって、5領域（「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」）を意識して描かれています。保育者は、ミッケルアートを通じて5領域を意識したアプローチを行うことができます。子どもたちにとっては、アートを通じて視覚的にわかりやすく、考える機会が増えます。これにより、貴園の保育がより深い学びへと繋がるのが期待されます。

※**カタログは毎月更新されます。**「サポート資料」ページから最新カタログをダウンロードしてご活用ください。

毎月20日にリクエストメールを送ると、毎月25日にアートが届く



リクエストシート
(エクセル)



リクエストされた
ミッケルアート

カタログに無いアートは「こんなシーンのアートが欲しい!」とリクエストしていただければ、制作に取りかかります。制作には約3週間かかります。

「ふりかえりシート」や「他園の活用事例」付き!



重要!

ふりかえりシート



他園の活用事例

🍀ふりかえりシート

アートと一緒に「ふりかえりシート」を同封致します。「ふりかえりシート」とは貴園がリクエストしたアートが縮小版で一覧になっており、「このように活用できた」など簡単に記入しておくことができます。ふりかえりシートご記入後、翌月5日を目途に弊社宛にメールまたはFAXで送信してください。

貴園から返信されたふりかえりシートを元に、1年毎にまとめの本冊子を弊社で作成致します。

🍀他園の活用事例

様々な情報をわかりやすく整理して同封します。貴園で活用できる取り組みがあれば、ぜひお役立てください。

ミッケルアートを継続することで、「保育の見える化」に繋がる

ミッケルアートを1年続けると、ふりかえりシートが貯まる

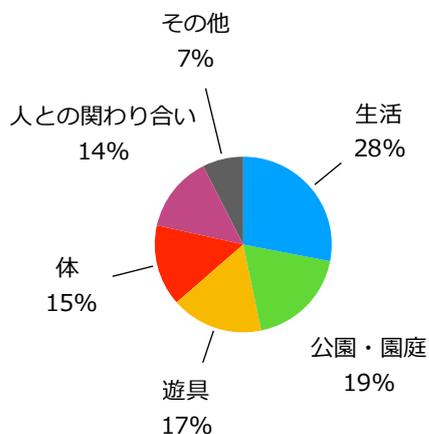


🍀 ふりかえりシート一年分まとめ

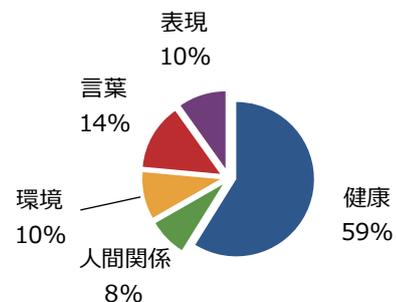
1年毎に、弊社から本冊子が届きます。本冊子には、ふりかえりシートや、リクエストされたアートの傾向が整理されています。これにより、**貴園が5領域の中で何に力を入れているの見える化することができます(下記グラフ)**。

また、どのアートをどのようなねらいで活用したのかを、**ふりかえり記録しておくことで、貴園のノウハウを蓄積することにつながります。**

2019年度に活用したアート題材の区分



5領域



ふりかえりシート一年分まとめの活用方法



- ・次年度のミッケルアートをリクエストする時に、使いやすかったアートなどを再活用する
- ・ベテラン保育者のノウハウを、新人保育者に伝達する研修ツール
- ・リクルート時に園の特徴を説明するツール
- ・保護者、外部関係者、園見学者に対して、貴園の保育を見える化できるツール



ミッケルアート使用上の注意点



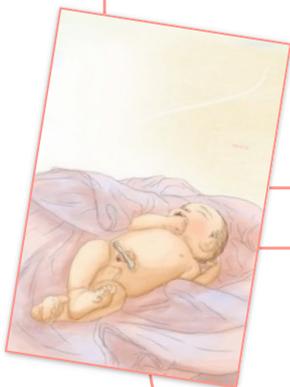
コピー禁止

ミッケルアートは、著作権法により保護されておりますのでコピー(複写)はお断わりしています。
サイズ違いなどご希望の際は、遠慮なくお申しつけください。

アートが破損しても負担なし！

アートが破れたり汚れたりしても、貴園のご負担はありません。そのままご返却ください。

アートを活用した保育者の声



赤ちゃんの絵や大人と子どもの関わりの絵が増えた事で、生命の誕生や出産について子どもたちと考える機会になった。

赤ちゃんがどのように成長するか、赤ちゃんをお世話する母親の姿を見てどう思ったかなど子どもたちから様々な考えを聞くことができ、知識を深められたと思う。

(異年齢のクラス担任)

よく考えて発言をする子が多く、想像力が広がるように感じた。また、視覚的に伝わりやすい。

(異年齢のクラス担任)

年齢が低いほど視覚的影響は大きく、言葉だけで説明しても理解できなかったことが、絵を見たことで、理解する子が増えたように感じた。

(異年齢のクラス担任)



トイレトペーパーの使い方について 絵を見比べて違いに気付いたり、年齢の高い子は良い悪いの理由まで考えることができていた。

(異年齢のクラス担任)

初めは絵を見て笑ったりし考える姿は見られなかったが、回数を重ねると少しずつ発言するようになった。

片づけをせず次の玩具を出していく姿が多い現在のクラスに合っていた。

「これはどうかな?」「どう思う?」の声掛けで子どもの想像の可能性が広がっていました。発言を苦手とする子も正解・不正解が無いので発言しやすかったと思う。私たちも新しい教材で新鮮な気持ちでできました。

(4歳児のクラス担任)





はじめは戸惑っていた子たちも回数を重ねるごとに少しずつ意見や気づいたことを言えるようになった。

まだ自分の気持ちを言葉にすることが難しい三歳にはどのように伝えたらいいのかを考えられるアートだった。
(3歳児のクラス担任)



初めは「良い」「悪い」だけだったが、回数を重ねる度に「この人は△△したいのかな?」「顔悲しそうだね」という発言も出て、より具体的なイメージがわいているようだった。

今下の子の面倒を見ようとしている年長児なので、よく意見が出ました。具体的に年長児の気持ち、年下の子の気持ちが出てきた。

「これはどうかな?」「どう思う?」の声掛けで子どもの想像の可能性が広がっていました。発言を苦手とする子も正解・不正解が無いので発言しやすかったと思う。私たちも新しい教材で新鮮な気持ちでできました。
(5歳児のクラス担任)

鼻をかんでいるアートを見ることで、より興味を示したり、清潔にする大切さを伝えたりできる。

1歳児クラスの子どもに、どこまで伝わるのかと感じた部分もあったが、予想以上にアートすべてに興味を示し、単語や言葉でアートに対して思いを伝えようとしていた。また、絵本とは違うリアルなアート(喧嘩、転んで泣く等)に対して、自分の過去のことを思い出して、伝えようとする姿もあった。
(1歳児のクラス担任)



絵を見て「痛い」などと話す姿があったため。絵を利用して伝えられそう。

アートを通じて言葉のやり取りが楽しめた。1歳児には難しいと感じるような絵でも、子どもたちは絵を見てイメージしながら伝えようとする姿があった。
(2歳児のクラス担任)

ミッケルアートとは

このページ以降は、ミッケルアートキッズ版開発の経緯及び弊社についてご紹介いたします。ベーシック受講内容とは関係ありませんが、ミッケルアートを今後活用される上で参考となる情報になればと思いますのでご一読いただければ幸いです。

🍀そもそもミッケルアートって何？



ミッケルアートの「ミッケル」は「見つける」という意味です。

当初は医療・介護系分野に特化して親しまれていたアートでした。紙版・映像版・絵画版・壁画版と多岐にわたるアートがあり、後にキッズ版が誕生しました。



ミッケルアートの一例



ミッケルアート映像版



ミッケルアートタブレット版

このような「ほっこり」をテーマにした懐かしい絵を見ることで、高齢者に思い出話を語ってもらえるようなアートです。アートには、高齢者が見やすいよう描き方に工夫を施しております。アート1枚の中には、会話のきっかけとなるようなものが20箇所以上含まれており、自然な会話を促すことから、使い手(医療・介護従事者)のスキルを問わず誰でも使えるコミュニケーションツールとして全国200箇所以上の施設で活用されています。

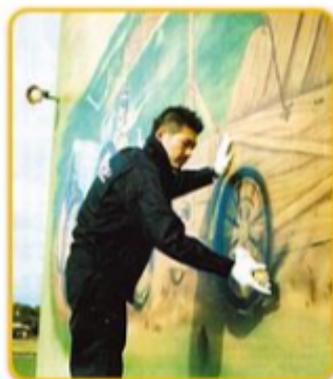


🍀 ミツケルアートができるまで



弊社代表の橋口論は、静岡大学工学部在籍中に短期留学として行ったカナダでスプレーアートに魅了されます。帰国後は独学でスプレーアートを学び、スプレーアートで起業することを決意。

2007年の企業当初は、医療や介護の分野とはかけ離れ、主にオーダーメイドのアート制作に携わっていました。



ある日、橋口の描くリアルな描写がとある介護施設関係者の目に止まり、「有料老人ホームの外壁を描いてほしい」という依頼がきたのです。



この壁画制作中、橋口はあることに気づきます。「施設利用者は、自室と食堂を行き来するだけで会話が少ない」ということです。施設の職員さんは業務に負われ、忙しそうに動き回っています。

橋口が、思い切って「どんな絵が見たいですか？」と施設利用者に声をかけてみると「故郷が懐かしい」「私の思い出を描いてほしい」と高齢者の想いは止まりません。

「施設の利用者はコミュニケーションを求めている・・・」

これが一介護職員の業務負担と施設利用者のコミュニケーション不足一双方を改善できないかと考えるきっかけとなったのです。

—介護職員の業務負担と利用者のコミュニケーション不足を解決したい—

それは簡単なことではありませんでした。

橋口はすぐさま高齢者にアンケートを実施。見やすく且つ懐かしさを感じるアートとはどのようなものなのか、独自に調査しました。そのアンケート実施数は800を超えました。幾度もの失敗を重ね、試行錯誤の末、2010年ついにミッケルアート誕生!



ミッケルアートがもたらす効果は、医療・介護の分野で高い評価を得ており、学会等で発表させていただいております。

これで終わりではありません。

より良いケアに繋げるにはどうしたら良いのか? アートを活用することでどのような効果が生じるのか? 専門機関の協力を仰ぎ、研究することで改良を重ねていっています。

ミッケルアートがもたらす効果(特に認知症周辺症状の緩和)については、医療・介護の分野で高い評価を得ております。詳細は、ミッケルアートホームページ <https://www.mikkelart.com/>「研究紹介」のページをご参照ください。



リハビリテーション研究会で基調講演をしている様子



開発者に聞く!ミッケルアートキッズ版への想い

ここでは、工学部在学中に起業→スプレーアート→医療・介護系分野のアート開発という異例の経歴を持つ橋口が、何故キッズ版開発に至ったのかをご紹介します。

Q.早速ですが、医療・介護分野に特化していたミッケルアートが何故幼児教育の分野のアートとして開発されたのでしょうか?きっかけとなるエピソードはありますか?

A. 学生時代、スプレーアートでライブペイントをしたり、参加型アートイベントを主催したりしていました。その頃から子どもを喜ばせるのは好きでした。

いつか教育に携わる仕事をしたい。そういう想いがありました。

娘が生まれて、成長していく姿を見て、次第に「今しかない」と思うようになりました。特に4歳になり、言葉をたくさん話し始めた頃ですね。

キッズ版は、「どんな絵がいいと思う?」と娘と一緒に題材について話し合って描いています。完成したアートは、娘に見せて、どんなことを考えるのか、子ども自身のリアクションをみます。

アートを制作する際には、保育者、保護者、子どもの3者の視点を大切にしています。

キッズ版は、子ども自身が歩みたい道を。ほんの少し照らすような存在。そんな役割になればと考えています。



Q.ミッケルアートのミッケルというのは「見つける」という言葉から来ていますね。介護医療で使われるミッケルアートは「思い出ややりたいこと・本音を見つける」という意味が含まれているようですが、キッズ版の「ミッケル」はどういう意味が込められているのでしょうか?

A. 「その子らしさをミッケル」という意味です。

ある園長先生から、「保育士は、子どもに何かを伝える方法はたくさん持っています。でも、その子がどう思っているのか、どんな考えをもっているのか。これを引き出すことが大変なんです。ミッケルアートは、これができるんですよ」と言われ、なるほどと思いました。アートをきっかけに、その子が何かをミッケテくれると嬉しいです。

Q.ベーシックを受講される方に一言お願い致します。

みなさんは、保育のプロフェッショナルとして、現場に必要なアートを見つけてください。私たちは、アートのプロフェッショナルとして、心に響くアートを制作します。

みなさんの声が、集まれば集まるほど、ミッケルアートキッズ版は「アートの図書館」に近づきます。今後も一緒に楽しみながら、アートの図書館を創りましょう。よろしくお願いします。

②問題集に
チャレンジにゃん♪



